

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆

新色
ラインアップ

SAND FRESH Si

ローラー用水性アクリルシリコン樹脂系石材調塗材

サンドフレッシュSi

高耐久

水性

工程短縮

SAND FRESH Si

ローラー用水性アクリルシリコン樹脂系石材調塗材

サンドフレッシュSi

石材調仕上塗材のローラーによる塗り替えに最適

従来、石材調仕上げは吹付工法が主流でしたが、近年では建物の立地環境や改修の割合が増えている事から飛散の多い吹付工法は敬遠される場合も少なくありません。サンドフレッシュSiは耐候性に優れたアクリルシリコン樹脂をバインダーとし、セラミック系特殊着色骨材を主成分としたローラー用石材調塗材です。

マンションのエントランス部の石材調塗り替えや、単色仕上げをより豪華に見せるための塗り替えにも最適です。

さらに、近年問題視されている、施工者不足の問題に対応すべく、トップコートフリーの工程短縮を実現しました。

特長

● 高耐久・高耐候性

アクリルシリコン樹脂と天然石・セラミック着色骨材を主成分としているため、耐久性・耐候性に優れています。

● ひび割れ追従性

塗膜には可とう性があり、下地の微細なひび割れに追従し、雨水の浸入を防ぎます。

● 工程短縮

トップコート不要のため、工程の短縮につながります。

● 防かび・防藻性

特殊設計により、かびや藻などの微生物に対して強い抵抗性を示し、衛生的な環境を維持します。

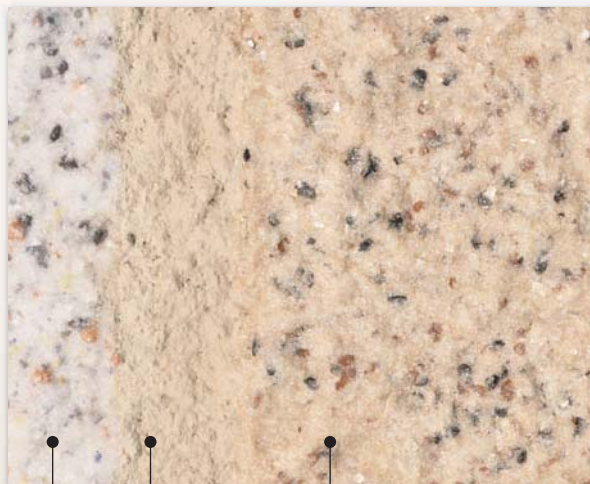
● 超低汚染仕様(オプション)

超低汚染型水性クリアトップ「SKセラミファイントップ」や、超低汚染型弱溶剤形クリアー塗料「クリーンエレガントップシリコン」の使用で、超低汚染性を実現します。詳しくは最寄りの各営業所までお問い合わせください。

■ 目地工法



■ 石材調仕上材の改装



石材調仕上材 SKカラーサーフ (+ 寒水石1厘) サンドフレッシュSi

用途

- 戸建て住宅、マンションなどの内外装
- 店舗、公共施設などの内外装

標準色



SDF-001



NEW SDF-013



NEW SDF-014



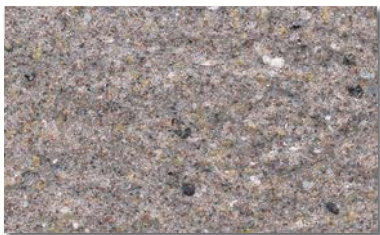
SDF-004



NEW SDF-015



SDF-003



NEW SDF-016



SDF-005



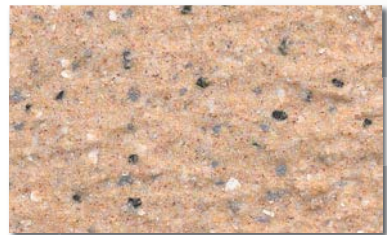
SDF-006



NEW SDF-017



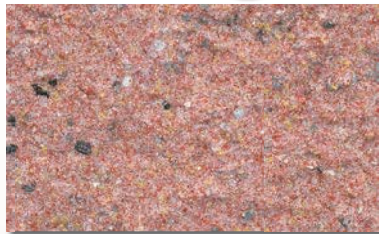
NEW SDF-018



NEW SDF-019



NEW SDF-020



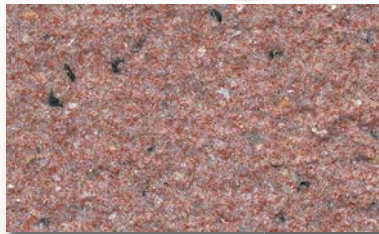
NEW SDF-021※



SDF-009



SDF-007



NEW SDF-022※



NEW SDF-023※



SDF-010※



SDF-008※



SDF-012※

- 写真は印刷のため、実物と異なる場合があります。ご了承ください。●サンドフレッシュSiは標準色のみを設定となっています。ご了承ください。
- 着色骨材を使用しているため、原材料の製造時期により色目の差異が発生することがあります。ご了承ください。
- 色目により常備在庫されていないものがあります。納期など詳細については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 景観法や条例に基づき「景観色彩ガイドライン」が制定されている地域では、使用できる建築外装の色彩が制限されます。このため地域によっては使用できない色彩も本パンフレットに含まれている場合があります。また「景観色彩ガイドライン」は地域によって異なりますので、詳しくは建設地域の行政へお問い合わせの上、基準内の色彩をお使いください。
- ※印は材料が割高になります。ご了承ください。

標準施工仕様

●改装仕様（下地：モルタル、コンクリート 既存塗膜：石材調仕上材など*）

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●旧塗膜に脆弱層のある場合は、サンダー及びスキ、クレン棒などを用いて除去し、ミラクファンDKC-1000で段差修正後、パターンの復元を行ってください。 ●高圧洗浄(5~15MPa)にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。							—
1 下塗り	SKカラーサーフ	100	0.5~0.7	1	—	16以上	—	ウールローラー SPローラー (マステックローラー細目) 刷毛
	寒水石 1 厘	10						
	清 水	5~7						
2 主材塗り	サンドフレッシュSi	100	2.2~2.4	2	4以上	—	24以上	M-9ローラー(マステックローラー) 刷毛
	清 水	5~7						
	清 水	5~7						

*既存塗膜の劣化が著しい場合には注意が必要です。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

●オプション仕様(超低汚染仕様)

(23℃)

3 上塗り	SKセラミファイントップ	既調合	0.14~0.18	2	2以上 7日以内	—	24以上	スプレーガン
-------	--------------	-----	-----------	---	-------------	---	------	--------

●新築仕様 上塗り(オプション仕様)工程は上記参照。

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間(hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	●下地はよく乾燥させ、含水率10%以下、pH10以下としてください。 ●付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
1 下塗り	SKサンドカラーベース	100	0.20~0.25	1~2	2以上	2以上	—	ウールローラー 刷毛
	寒水石 1 厘	10						
	清 水	5~15						
2 主材塗り	サンドフレッシュSi	100	2.2~2.4	2	4以上	—	24以上	M-9ローラー(マステックローラー) 刷毛
	清 水	5~7						
	清 水	5~7						

●新築仕様/目地仕上げ^{※8} 下地調整、下塗り工程、上塗り(オプション仕様)は上記参照。 改装仕様の目地仕上げについては、別途お問い合わせください。

(23℃)

2 目地割り	元請けと協議の上、目地テープの使用法、施工手順、美観を決定してください。							—
3 墨出し	仕上がりのための基準線を描いてください。							—
4 目地テープ貼り	墨出した線に沿ってSK目地テープを貼り付けてください。							—
5 主材塗り	サンドフレッシュSi	100	2.2~2.4	2	4以上	10分以内	—	M-9ローラー(マステックローラー) 刷毛
	清 水	5~7						
	清 水	5~7						
6 目地テープ除去	塗面を傷つけないようにSK目地テープを素早く取り除いてください。							—

- ※1. 施工下地の平滑性は金で仕上げ以上としてください。
- ※2. 大壁に施工する場合は、必ず化粧目地を入れてください。目地間隔は、たて、よこ1.5m以内とし、できる限り多く取るようにしてください。また、塗り継ぎは目地で行うようにしてください。
- ※3. 目地仕上げの場合は、別途費用が加算されますので、詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※4. 下地の種類によっては、下塗材の選定が必要になります。特に押出成形セメント板、GRC板、PC部材などには、下塗材として★エスケーハイブリッドシーラーEPO(15kgセット)、または★マイルドシーラーEPO(14kgセット)、★ミラクシーラーEPO(15kgセット)をご使用ください。なお、軽量PC部材への施工は避けてください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※5. SKサンドカラーベース、SKカラーサーフの色目は、サンドフレッシュSiと共色になっています。
- ※6. マステックローラー細目はメーカーにより目の大きさが異なる場合があります。SPローラー以外のマステックローラー細目を使用する際はご注意ください。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※7. この他、★クリーンエリガントップシロン(艶有り・3分艶・艶消し、15kgセット)もご使用いただけます。オプション仕様製品について詳しくは、専用パンフレットをご参照ください。
- ※8. 目地色は主材共色としてください。共色でない場合、目地色を塗装した後、目地部を養生後に必ず共色を塗装してください。
- ※9. 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- ※10. 微弾性サーフェーサーを使用する仕様で、軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窓サッシサイディング及び発泡ウレタンなどを使用した高断熱型外壁に塗装する場合は、蓄熱されたり、水の影響や下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることでパネルの変形や塗膜の膨れ、剥がれなどを生じることがあります。ご採用にあたっては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※11. 改装工事に溶剤系の下塗材をご使用の場合は、溶剤などの影響により旧塗膜を侵し、膨れ、ちぢみなどの異状が発生することがあります。試し塗りにより確認の上、本施工に入ってください。
- ※12. 防かび・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび・防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- ※13. かびや藻が付着している場合は、SKカビ除去剤#5(塩素系)にて拭き取るなど、適切な下地処理をしてから塗装してください。
- ※14. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- ※15. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- ※16. 低温又は高温湿度時は、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- ※17. ロットが異なる材料は、色目が異なる場合がありますので、同一面での複数ロットの使用を避けてください。
- ※18. 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装してください。
- ※19. 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- ※20. 大壁面では、補修部分が目立つ場合がありますのでご注意ください。
- ※21. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- ※22. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- ※23. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ※24. 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- ※25. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化、しみの発生などにつながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。

●荷 姿

材料名	入目(標準塗坪)
SKカラーサーフ	18kg石油缶(28~39m ² /セット) ^{※2}
SKサンドカラーベース	16kg石油缶(70~88m ² /セット) ^{※2}
寒水石 1 厘	20kg袋
サンドフレッシュSi	20kg石油缶(8~9m ² /缶)
SKセラミファイントップ	15kg石油缶(83~107m ² /缶)
SK目地テープ(5・7・10mm幅、30m巻)	10本包

注1. 上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。
注2. 寒水石 1 厘を加えた場合での標準塗坪となります。

●危険情報と安全対策

- 製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。
- 特に★印のついてる製品は溶剤系の製品であるため、下記の点にご注意ください。
 - 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 - 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは、送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 - 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

●施工後の注意

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

- ※26. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるように攪拌してください。また、施工の際は、攪拌希釈等の条件は統一する様にしてください。
- ※27. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上の施工は原則的に避けてください。気温5℃以下での施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により室内気温、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- ※28. 材料は使用前に内容物が均一になるように攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所に保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- ※29. サンドフレッシュSiには、材料の特性上、多少の臭気があり、内装で使用する場合には、換気に十分配慮してください。
- ※30. 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。



本 社 大阪府茨木市中穂積3-5-25 ☎ 072-621-7733

札幌支店 011-784-4000 東京支店 03-3204-6601 埼玉支店 048-686-2391 名古屋支店 052-561-7712 大阪支店 072-621-7721 広島支店 082-943-5043 福岡支店 092-629-3427
仙台支店 022-259-2431 千葉支店 043-304-0411 横浜支店 045-820-2400 京都支店 075-646-3967 神戸支店 078-671-0451 高松支店 087-865-5411

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



[製作年月:2020年2月](200210.KO-6)